



にほんぶんかきょうしつ
日本文化教室 No.8

国際教育センターでは、外国人留学生が日本の伝統文化に直接触れ、日本への理解をより深めることを目的とし、2003年度から日本文化教室を実施しています。日本人学生も参加し、外国人留学生と日本人学生と一緒に日本文化を体験することで、相互交流を図るとともにグローバルな視点を身につけてほしいと願っています。

しょうどうきょうしつ
書道教室

Shodo Class



いばなきょうしつ
生け花教室

Ikebana Class



きょうしつ
きもの教室

Kimono-Wearing Class



グローバル時代は言語と文化を越え、世界の人が共生することが求められる時代です。国際教育センターも留学生と日本人学生のみなさんがお互いの言語と文化を理解し、共生できるようになるためのお手伝いができればと考えています。

この日本文化教室も、日本の文化について単なる知識ではなく、実践を通して理解することができるよう、実施しているものです。最近では学内の部・サークルの協力も得て、交流的な意味合いも加味しながら実施されています。そこには単に文化の理解だけでなく、言語と文化を越えた協働の促進と共生の実現といった願いが込められています。

この冊子はこれまでの活動を紹介したものです。一人でも多くの留学生のみなさんに参加してもらえればと思っています。みなさんのご参加を心からお待ちしています。

生け花教室

生け花教室

生け花(華道)は、16世紀ごろから盛んになった日本の伝統的な芸術の一つです。自然の花を使って天(宇宙)、地(地球)、人の3要素をバランスよく表現する、という考え方が基本です。しかし、活け方は華道流派によって異なります。

国際教育センターでは、2004年度から生け花教室を始めました。毎回、その季節のお花を使って基本的な活け方を先生から教えてもらいます。また、上級者用の花材で先生が応用編をご披露して下さったり、参加者にも大変好評な教室です。



ぜん こうき
前・後期



こうし あかいけふさこ りゅうか せんせい
講師 赤池房子(柳華)先生

●プロフィール

げんざい ざいだんほうじん おはらりゅうほんぶ ふくさうむ かわさきし
現在、財団法人小原流本部 副教務、川崎支部 支部長。結婚を機に、義母が華道教授だったことから華道を始め、約45年。本学華道部の講師などを含め、長年にわたり華道に携わっている。

しゆみ え りよこう どくしよ
趣味 ちぎり絵、旅行、読書。

★講師の先生にインタビューしました！

- Q: 華道の魅力を一言でいうと何ですか。
A: 色彩的な調和や対比の美しさを表現したり、季節感をふまえて対象とする空間を虚構をまじえて表現すること。
- Q: 留学生に日本文化を紹介する意義は何ですか。
A: 皆様がそれぞれの国に帰り、生け花の事を話題にして頂けることです。
- Q: 参加者の作品はどうか。
A: 初めて体験して活けたのを見て、とてもセンスのある様に見うけました。
- Q: 参加者の印象はどうか。
A: 皆さんがとても楽しそうに活けているので教えていて“ホッ”とします。
- Q: 教えてみて難しいと感じる点は何ですか。
A: 一回だけの指導なので、内容的に理解してもらえたかどうか疑問です。
- Q: 教えてみておもしろいと感じる点は何ですか。
A: それぞれとても個性のある活け方をするので感心します。
- Q: この文化教室の魅力は何ですか。
A: 色々な国の方々と会話ができることです。
- Q: 今後この文化教室で挑戦してみたいことがあれば教えてください。
A: 花材もいろいろ取り揃えて各自好きに活け、それぞれ講評しあってはと思います。
- Q: 華道に関するおすすめの本や、サイトがあれば教えてください。
A: 書籍 梅のいけばな 小原流いけばな双書4 小原流出版事業部
小原流いけばな基本マニュアル 小原流いけばな双書13 小原流出版事業部
月刊誌 挿花
隔月刊誌 桔梗

WEB いけばな小原流 <http://www.ohararyu.or.jp/>

みんなのいけばな <http://www.minnanoikebana.com>

当日の様子

当日の様子



最初に生け花について先生が説明して下さいます。



先生と一緒に活け始めます。



一人一人に、丁寧に教えて下さいます。



最後に先生が応用編を披露して下さいます。



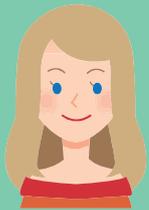
「かたむけるかたち」にも挑戦します！



「たてるかたち」が出来上がりました。

参加者の声

今回のイベントで生け花の美しさを感じました。またチャンスがあれば、絶対参加したいと思います。



自分が試した後に、先生が生け花をする姿も見ることができて、習ったことをもう一度見直すことができるし、勉強になりました。ありがとうございました。



きもの教室

和服はここ数百年全く形が変わっておらず、日常着としての機能はほとんど失われてしまいました。しかし、最近和の美として見直され、若い人々のあいだで人気復活しています。

国際教育センターでは、2005年度からきもの教室を始めました。前期は名古屋帯と浴衣、後期は名古屋帯の着つけを通して、日本の伝統文化を体験しています。日本人・留学生を問わず、例年希望者が多いため、とてもにぎやかな教室です。



ぜんこうき
前・後期



こうし がいけい こせんせい
講師 我部敬子先生

●プロフィール

我部敬子きもの教室主宰。お茶の水女子大学卒。装道きもの学院で学ぶ。30年以上にわたり、着つけ教室、婚礼着つけ、七五三着つけなど幅広く活動。現在、着物コンサルタント。本学着つけ同好会の講師でもある。趣味 歌を歌うこと。俳句。

★講師の先生にインタビューしました！

Q：先生が着つけを始められたきっかけはなんですか。

A：自分できちんと着物が着られるようになりたかったので。習っていくうちに、人にも着せたい、いろいろな着物に触れてみたいと思うようになりました。

Q：着物の魅力を一言で表すとなんですか。

A：洋服にない日本の美意識が集約されている。

Q：きもの教室での面白いエピソードや失敗談はありますか。

A：数年前、あるきれいな学生がお稽古で着物を着終わりそのまま外出するというので、「履物は？」と聞くとショートブーツでいいと言うのです。最初からショートブーツだとわかっていれば、それなりの着方を教えてニューファッションで送り出せたのに、と今でも悔やまれます。

Q：教えてみて難しい、あるいは楽しいと感じる点はありますか。

A：私達の若い時に比べ、全体に不器用になっているので、何度もくり返し一つのことを教えなければいけません。けれども、努力の結果、上手に着物を着て、紐の扱いなどに慣れてくると、よかったと思います。楽しいのは、若い人達の考え方、感じ方を知ることができること。驚くことや、あきれることや、感心することなども様々あります。

Q：今後、きもの教室で挑戦してみたいことはありますか。

A：韓国のチマチョゴリとの共通点を探してみたいので、両方を着比べる機会を持ちたいです。また、いつか英語で教えたり、もっと楽な着方を工夫したりしたいです。

Q：最後に、お茶大の学生へメッセージを一言お願いします。

A：お茶大生は目標を立て、それに向かって地道に努力をする学生が多く、この堅実な校風は今どき貴重なものだと思います。信じられない位の早さで変わっていく世の中でも、自分はどんな人生を送りたいのかをしっかりと考えて前に向かって努力を重ねて行けば、道は開けてゆきます。

とうじつ ようす
当日の様子

当日の様子



さいしよ きもの れきし せつ
最初に着物の歴史について説
明を受けます。



せんせい しどう う
先生からご指導を受けながら、
ひとつずつ、帯を締めていきま
す。



むか かい うし がわ せんせい
難しいところや後ろ側は先生
が直して下さいます。



じぎ しかた しよき まな
お辞儀の仕方など、所作も学び
ます。



ようやく ぶじ きお
ようやく無事に着終わりました。



おびむす しあ
帯結びの仕上げです。

さん かしゃ こえ
参加者の声

ゆかた はじ き
浴衣を初めて着て、すごく嬉し
かったです。楽しい時間を過ごし
て、日本の文化についてたくさん
学びました。先生はとてもしんせ
つに教えてくださって、ありがた
いです。



きもの きかた たいけん ちゃ
着物の着方を体験して、お茶
を飲みながら着物の話を聞
いて、楽しかったです。

ゆかた きかた まな
浴衣の着方を学んだので、
今度は自分で着てみたいで
す。洋服と違い、「優雅さ」
が感じられることが素敵だ
と思います。



書道教室

書道教室

書道は、筆と墨で文字を書く芸術です。もともと中国から伝わったものですが、日本では漢字に仮名文字を組み合わせて独自の発展をしました。現代では日常生活で筆を使うことは多くありませんが、小学校の授業や習い事といった形で人々に親しまれています。

国際教育センターでは、2003年度後期より書道教室が開かれています。基本的な練習のほか、前期は色紙に、後期は長い紙に書く書初めにも挑戦しています。



ぜんこうき 前・後期



講師 赤木美香先生

●プロフィール

書道教室を開いている書家の叔母の影響を受け、5歳で書道を習い始める。師範の資格を持っており、国際教育センターの書道教室を担当している。趣味は、クラシック音楽演奏と鑑賞、特にバッハが好き。それから食べること。

★講師の先生にインタビューしました！

- Q：書道の魅力を一言でいうとなんですか。
 A：集中した時間の中で、お手本（文字）に対し忠実に点画の細部までこだわり書くこと。
- Q：留学生に日本文化を紹介する意義はなんですか。
 A：書道を通して、日本文化を知ることにより、異なる文化で育った自分（留学生自身）とも向き合うことが可能です。
- Q：参加者の作品はどうか。
 A：基本点画をしっかりと押さえ、縮こまらない、伸びやかな作品です。
- Q：参加者の印象はどうか。
 A：研究に打ち込む姿勢に似ていると思いました。お手本の文字を理解し、解釈をした後に書き出す作業は、論文執筆と異種同類だと思えます。
- Q：教えてみて難しいと感じる点はなんですか。
 A：正しい姿勢で呼吸を取りながら書くと良い作品ができますが、それはとても難しいです。
- Q：教えてみておもしろいと感じる点はなんですか。
 A：国により、漢字の受け止め方が異なることと、テーマ選択が斬新で、新鮮です。
- Q：この文化教室の魅力はなんですか。
 A：いろいろな国の人が、書道を通して、理解、評価し合ったりできることだと思います。
- Q：今後この文化教室で挑戦してみたいことがあれば教えてください。
 A：臨書（歴史上に古典として残る名筆を模倣すること）やTシャツに作品を書くなどです。
- Q：この文化に関するおすすめの本や、サイトがあれば教えてください。
 A：書道を生活の中に取り込んで創作活動をする書道家の武田双雲さんのサイトです。

<https://www.souun.net/>



当日の様子

1



先生が筆の使い方を教えて下さいます。

当日の様子

2



基本的な書き方を半紙で練習します。

3



先生のお手本をみながら、好きな文字や言葉を書きます。

6



最後に清書をして、作品が完成！

5



たくさん練習しました。

4



真剣な表情で取り組みます。

参加者の声



今日は本当に楽しくて、面白かったです。書道をするときに安心になれるから、この授業がすきでした。



久しぶり筆を使って、いい感じでした。全然上手にできていないですけど、字を書く過程で心を落ち着かせることができました。



茶 道 教 室

茶 道 教 室

茶道は、茶を通して礼儀作法を修める道です。ただお茶を点てるのではなく、建築、工芸、生け花、料理などと結びついた総合芸術といわれる奥の深い世界です。表千家を中心に42流派ほどありますが、学んでいる人数が最も多いのは裏千家です。国際教育センターでは、お茶の水女子大学の裏千家茶道部のご協力を得て、茶道教室を2011年から始めました。庭園の中に建つ伝統的な茶室で行われるため、本格的な茶道体験ができると好評です。



ぜん こう き 前・後期



こうし よし だ けい こ そうふう せんせい
講師 吉田啓子 (宗風) 先生

●プロフィール

うらせん け さ どう せいきょうしゆ
裏千家茶道 正教授。
そ ぼ は は うらせん け さ どう しゅうどう
祖母、母が裏千家茶道に修道していたこと、また茶道の奥深さに興味を持ったことから習い始め、約16年。
しゆ み どくしよ えい が かんしゅう
趣味 読書、映画鑑賞など。

★講師の先生にインタビューしました！

Q：茶道の魅力を一言でいうと何ですか。

A：茶道は、日本の総合文化です。また、茶道を学ぶことでよりよく生きるための道筋が示されるような気がします。

Q：文化教室の魅力はどんなことだと思われませんか。

A：茶道を知っていただけることは意義のあることですが、所作のひとつひとつに深い意味があることを理解していただくのは、短時間では難しいです。今後もより深い理解のために、時間を作ってもらえたらうれしいです。

Q：今まで教えられた中で、思い出深いエピソードなどありましたら教えてください。

A：茶道とは、ただ湯を沸かし茶を点てるだけのことですが、その基には合理性と科学的な洞察があります。アインシュタインが、炭手前で湿った灰をまくのを見て、物理の原理に基づく叡智に感心したそうです。これを聞き、日本人として誇りさえ感じました。

Q：茶道に関するおすすめの本や、サイトがあれば教えてください。

WEB：裏千家 今日庵 <http://www.urasenke.or.jp/index2.html>

とうじつ つと に ほんじんがくせい き
当日アシスタントを務められた日本人学生からお聞きしました。

Q：難しいと感じた点はどんなことでしたか。

A：日本人にとっても馴染みのない言葉や所作を、どのように説明したら誤解なく伝わるかということです。

Q：おもしろい、興味深いと感じた点はどんなことですか。

A：薄茶を点てる体験をしていただく時、全員がうれしそうにやってくれたことが、とてもうれしく、深象深かかったです。

Q：参加者の様子をご覧になって、どんな感想を持たれましたか。

A：限られた時間でしたが、茶道に触れてその良さを感じていただけたと思います。

当日の様子

当日の様子



1 掛け軸やお花について先生が説明して下さいます。



2 普段は見られないところも、特別に見せてくれました。



3 部長さんのお点前を先生が解説して下さいます。



6 美味しいお茶に大満足。



5 今度は自分で点ててみます。



4 作法にならって、お茶をいただきます。

参加者の声

すべてのお茶の道具がとても美しかったです。先生やアシスタントの方の仕草や歩く姿まで美しかったです。お茶とお菓子もとても美味しく、本当に興味深かったです。



初めて濃茶を飲むことができて、素晴らしい体験でした。先生はとても優しく説明してくださって、大変勉強になりました。

お茶の文化や茶道を勉強してみたら、いろいろ細やかなところがありました。美しいと思います。



ふろしき教室

風呂敷は、ものを包んだり運んだりするのに用いられ、日本では庶民の生活に欠かせないものでした。現代では、伝統を見直す「和ブーム」の一つとして、人気が出ています。また、環境にやさしい点も評価されています。

国際教育センターのふろしき教室では、和風ラッピングとしてのふろしきの使い方にとどまらず、日本文化の中でのふろしきの歴史、多様な活用方法に触れ、ふろしきの魅力を学ぶことができます。



講師 中川栄子先生

●プロフィール

ふろしき研究会会員。消費生活コンサルタントそして礼法講師として、日本のふろしきの歴史と伝統に学びつつ、ふろしきの持つ次世代の暮らしの一助となる可能性を発信している。

趣味 日本民謡、生け花、ピアノ、園芸

★講師の先生にインタビューしました！

- Q：先生はふろしきを始められたきっかけは何ですか。
- A：幼い頃から、優しくも凛としたふろしき包みに心惹かれてきた。ある時、祖母のふとした仕草から、ふろしきが目には見えない日本人の大切な思いを包んでいるのだ、と感じたことから。
- Q：ふろしきの魅力を一言でいうと何ですか。
- A：ふろしきは、日本文化の持つ多様性、精神性、芸術性を内在し、さらに、「包み」、「結ぶ」という使用時の指先を使う手間が、私達に創造する楽しさを教えてくれるものであること。
- Q：文化教室の魅力はどんなことだと思われませんか。
- A：講義と実習を通して、留学生の皆様には日本文化の一片を体感して頂き、共有して頂ける本当に良い機会だと思います。
- Q：教えてみて難しいと感じる点は何ですか。
- A：「ま結び」の結び方です。でもこれは、「結ぶ」という生活経験が乏しい日本の若い世代でも同様のこと。貴大学の留学生の皆様は、直ぐに習得されています。
- Q：教えてみておもしろいと感じる点は何ですか。
- A：基本をご理解していらっやらないと浮かばない熱心なご質問、素晴らしいご意見やご感想を、お聞きすることが出来る時です。
- Q：今まで教えられた中で、思い出深いエピソードなどがありましたら教えてください。
- A：それは、ある大学での講座のこと。留学生として参加されていた一人の方が、身に付けていたスカーフを外し、私にプレゼントしたい、と。「自分の国にもこの様に布の文化はあるが、あまり関心が無かった。ふろしきのお陰で、日本文化を知っただけでなく自分の国のことも考えることが出来た。本当にありがとう。」と。
- Q：参加者の作品はどうか。
- A：皆様大変熱心に取り組み、どの包みもととても個性的で綺麗でした。
- Q：今度この文化教室で挑戦してみたいことがあれば教えてください。
- A：参加される方に、ご自身や出身大学での「日本のふろしき」の認知度に関するアンケートをお願いし、いただいた内容を元に情報交換できれば、講座内容が深まるのではと考えます。
- Q：ふろしきに関するおすすめの本や、サイトがあれば教えてください。
- A：『ふろしきに親しむ』、『ふろしき自由自在』、『Gift Wrapping with Textiles』

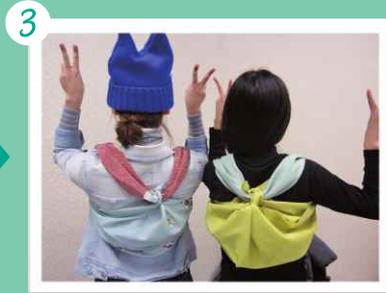
当日の様子



1 ふろしきの歴史と伝統、漢字「包み」について学びます。



2 ひとつ結びとま結びについて先生が丁寧に教えて下さいます。



3 災害時に役立つふろしき活用方法も考えます！



6 完成！



5 ワインボトルに着物を着つけるように、包みました。



4 贈り物を包んでみましょう。

参加者の声



ふか ぶんか おも かしょう
深い文化だと思ます。過剰
ほうそう じだい いま
包装の時代の今、ふろしきの
つか かた たい みなお ほう
使い方に対して、見直した方
がよいと思ます。地球に優
ぶんか おも
しい文化だと思ます。



きょうしつ れきしてき じょう
ふろしき教室で歴史的な情
ほう いがい にほん げんざい
報以外に日本の現在につい
ても分かってきました。本当
たの にほんぶんか べんきょう
に楽しくて、日本文化に勉強
けいけん
になる経験でした。



いろいろ つつ かた たいけん
色々な包み方が体験できて、
おもしろいと思ます。先生
もやさしくて、いい授業でし
じゅぎょう
た。



歌舞伎勉強会・折り紙教室

歌舞伎勉強会

歌舞伎は日本の伝統演劇の一つで、1603年頃出雲大社の巫女・阿国が京都で念仏踊りを興行したのが初めとされています。

お茶の水女子大学は、年に一回（6月頃）、留学生向けの歌舞伎鑑賞教室があります。そこで国際教育センターでは、その歌舞伎鑑賞教室をより楽しめるよう、事前に歌舞伎勉強会を開いています。勉強会は鑑賞教室に行かない学生でも参加できるので、たくさんの学生でにぎわいます。

ビデオを見ながら、歌舞伎の歴史や鑑賞のしかた、そして、鑑賞教室の演目について、登場人物やあらすじなどを勉強します。

初心者にとって、歌舞伎のことを知るよい機会となっています。



折り紙教室

折り紙は、紙を折って動物やお花、生活の道具などのさまざまな形を作る、日本の伝統の遊びです。小さなものから大きなもの、立体的なものから平面的なものまで、多くの種類があります。

国際教育センターの折り紙教室でも、箸袋など実際に使えるもの、アニメのキャラクター、また次の年の干支の動物のグリーティングカードなど、さまざまな作品を作ってきました。これからも、みなさんの希望を取り入れながら素敵な作品を作っていきます。



参加者の声



折り紙で出来た作品はすごくきれいで、みたら気分が良くなります。折っている最中もおもしろくて、楽しかったです。

文化教室のお手伝い

文化教室は、講師の先生を始めとした、たくさんの方々のご支援のもと続いています。生け花教室では華道部の方々に、着つけ教室では着つけ同好会の方々に、茶道教室では裏千家茶道部の方々に、お箏教室では箏曲部の方々に、使用するものを準備していただいたり、先生のサポートをしていただいています。

ぜんき
前期

お 箏 教 室

お箏は日本の伝統的な楽器で、千年以上前の中
 国から伝わり日本の風土にあわせて独自に進化し
 ました。「源氏物語」などの古典文学作品にも登場
 します。生田流と山田流に分かれていて、爪の形や
 弾き方が異なります。

国際教育センターでは2015年度後期からお箏教
 室を始めました。部員のみなさんが「飛躍」や
 「三段の調」などの演奏を聞かせて下さったり、
 みんなで「さくら」を演奏したりしました。



お箏教室・能楽教室

参加者の声



お箏を直接触ってみることができて、とても面白かったです。しかも短いながら演奏してみ
 ることができ、貴重な経験をしたと思います。ありがとうございます。

後 期

の う が く き ょ う し つ 室

能楽は約650年の歴史を持つ世界最古の演劇の
 一つで、2001年にユネスコの世界無形文化遺産に
 も指定されている、日本の伝統芸能です。多くの戦
 国武将や将軍に愛された古典芸能は、海外からも
 高い評価を得ています。

国際教育センターでは、2017年度後期から新た
 に能楽教室を始めました。宝生流能楽師の先生を
 お招きし、おめでたい時に謡われる「高砂」を練習
 したり、基本動作である舞を習ったりしました。



参加者の声

曲と動きも体験しました。本当に面白かったと思います。先生は能の歴史、服と、道具
 も紹介して下さいました。いろいろ勉強してよかったです。



がいこくじん まな がいこくご こうざ
外国人ネイティブと学ぶ外国語講座

お茶の水女子大学には、約240人の留学生が在籍しています。そこで国際教育センターでは、①国際的人材の育成、②留学生と日本人との交流、③留学生の社会貢献の場の提供を目的とし、2002年より、前期と後期に「外国人ネイティブと学ぶ外国語講座」を開催しています。昼休みを利用し、発音や挨拶、簡単な日常会話などを学びます。参加者のみなさんにとって、外国語の学習のみならず、異なる言語や文化、考え方や価値観の理解を深めるよい機会になっており、また講師を務める留学生のみなさんにとっても、日本での貴重な経験となっているようです。

2017年度前期は「イタリア語講座」、後期は「アラビア語講座」を実施しました。



前期「イタリア語講座」の様子



後期「アラビア語講座」の様子

さん かしゃ こえ
参加者の声



楽しく学ぶことができました。覚えることが多いので、家で整理しようと思います。ありがとうございました。

文字や文化を少し知れたら・・・と思って参加しました。あいさつに宗教色が強いことがすごく面白かったです。授業ではアルファベットを何度も丁寧に教えていただけて、理解が深まってありがたいです。



こうし こえ
講師の声



今回の講座では、私の母国語と文化を楽しく教えることができ、嬉しいです。皆さんが世界で最も難しい言語の一つのアラビア語に興味を持ち、積極的に取り込んで、短い間に、読むこと、書くこと、話すことを学んだので、大変嬉しく思います。この経験のおかげで、私は教師として成長したように実感しました。今後も頑張りたいと思います。

こうかいこうえんかい 公開講演会

ねん かい こくないがい さまざま せんせいがた まね にほんごきょういく にほんぶんかりかい いぶんかりかい
年に2回、国内外から様々な先生方をお招きし、日本語教育、日本文化理解、異文化理解などにつ
いて講演会を開催しています。

ねん ど ぜんき すずき ゆういちせんせい かな がわだいがくがいがいこく ごかく ぶじゆんきょうじゆ まね
2017年度前期は、鈴木祐一先生（神奈川大学外国語学部准教授）をお招きし、「Cognitive SLA
けんきゆ ちしき そくていほうほう めいじてき あんじてきちしき しどうか ちゆうしん こうえん
研究における知識の測定方法：明示的・暗示的知識・自動化を中心に」というテーマでご講演いた
だきました。

ねん ど こうき さとうしん じせんせい だいがく にほんご しゆにんこうし
2017年度後期は、佐藤慎司先生（プリンストン大学日本語プログラムディレクター主任講師）をお
まね まね
招きし、「かかわることば：『多言語・多文化』に開かれた教育をめざして」というテーマでご講演
いただきました。



ぜんき こうえんかい しようす
前期講演会の様子



こうき こうえんかい しようす
後期講演会の様子

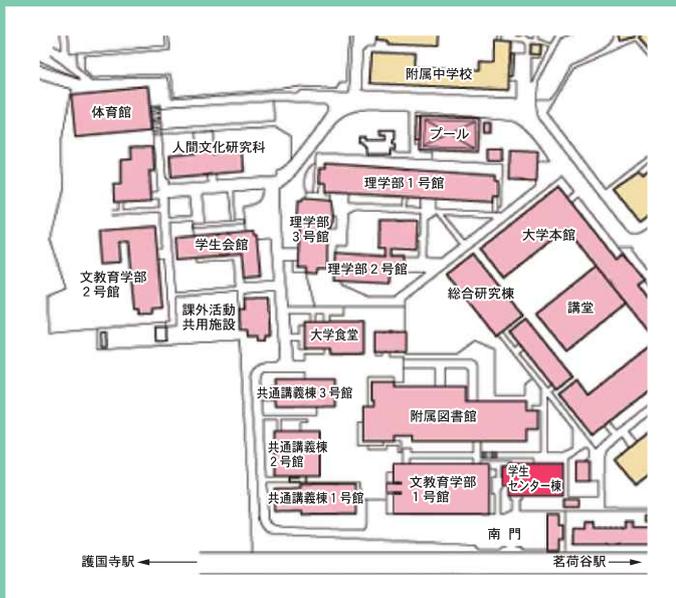
こうかい 公開セミナー

まいとしこうき たぶんか きょうせいろん じゆきやう たぶんか きょうせい なに ちいきしゃがい ほうそうかんけい
毎年後期の「多文化共生論」の授業では、「多文化共生とは何か」をテーマに、地域社会、法曹関係、
しゃがいふくし きょういくじつせんげん ば かつやく ひとびと まね こうかい かい
社会福祉、教育実践現場などで活躍する人々をゲストスピーカーとしてお招きし、公開セミナーを開
さい
催しています。

ねん ど ふじた さちよ せんせい こくさいきりすときょうだいがくきょういんじゆんきょうじゆ ながせ せいせきせんせい りつめいがんだいがくせいぞんがく
2017年度は、藤田ラウンド幸世先生（国際基督教大学客員准教授）、長瀬修先生（立命館大学生存学
けんきゆ きょうじゆ きくち あきよしせんせい せんだいがんこうこくさいきょうかい たぶんかしゃがい よしの せいせきせんせい
研究センター教授）、菊池哲佳先生（仙台観光国際協会：多文化社会コーディネーター）、吉野晶先生
ほうりつじ むしよ べんごし めい まね げんじやう かだい こうき おこな
（法律事務所コスモス：弁護士）の4名をお招きし、現状と課題についての講義が行われました。



こくさいきょういく しょうかい 国際教育センターの紹介



こくさいきょういく しょうかい
国際教育センターは、2001年4月に学内共同教育研究施設として設置されました。

こくさいきょういく りゅうがくせいうけいれい ぶもん
センターの国際教育（留学生受入）部門は、①学部・大学院で学ぶ留学生に対する日本語・日本文化教育、②留学生の教育研究の指導や社会生活上の悩みに対する助言など、受け入れから帰国までの一貫した教育指導援助、③日本人学生との相互交流体制の構築を行っています。

こくさいきょういく
国際教育センター・ホームページ
<http://www.cf.ocha.ac.jp/gec-in/index.html>

ぶん か きょうしつ
文化教室
http://www.cf.ocha.ac.jp/gec-in/j/menu/events/cul_school.html

がいこくじん まな がいこく ここうざ
外国人ネイティブと学ぶ外国語講座
<http://www.cf.ocha.ac.jp/gec-in/j/menu/events/native.html>

こうかいこうえんかい
公開講演会
http://www.cf.ocha.ac.jp/gec-in/j/menu/events/l_meeting.html

こうかい
公開セミナー
<http://www.cf.ocha.ac.jp/gec-in/j/menu/events/seminar.html>

へんしゅうこう き 編集後記にかえて

こんかい さっし おお かた きょうりょく ささ ぶん か きょうしつ つづ あらた かん
今回この冊子をまとめてみて、多くの方のご協力に支えられて文化教室が続いてきたことを改めて感じました。文化教室の発足時から、常に支援して下さるセンターの先生方、いつも心を込めて教えて下さる文化教室の先生方、アシスタントの方々々に心から御礼申し上げます。

こくさいきょういく い よんせん いけだ かな こ ご えいせん やまなか ひろこ
国際教育センター 李 涓丞 池田 香菜子 呉 映璇 山中 弘子

はつこう ちゃ みずじよ し だいがくこくさいきょういく
発行：お茶の水女子大学国際教育センター

とうきょうと ぶんきョうく おおつか
〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1

ちゃ みずじよ し だいがく がくせい とう かい
お茶の水女子大学 学生センター棟3階304

TEL/FAX 03-5978-5965

せいほん いんさつ こうさんかぶしきがいしゃ
製本・印刷：よしみ工業株式会社

とうきょうと ぶんきョうく ほんごう ほんごうみやた かい
〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 本郷宮田ビル3階

TEL 03-5802-5601 FAX 03-5802-5603